

🍁 迎え火・送り火

「迎え火」と「送り火」は、ご先祖様の霊が迷わずに家へたどり着き、また無事あの世へ帰れるようにするための大切な儀式。一般的に、お盆の始まりの夜明け前に家の前で迎え火を焚きます。そして、お盆の終わりに、ご先祖様を送るための送り火を焚きます。燃え盛る火は、三春のお盆を彩る印象的な光景です。



🍁 墓参り

多くの家庭は、8月13日に墓参りをします。かつては大町などで花市が開催され、お盆に供える花やハスの葉などが並び、多くの人で賑わいました。現在、大規模な花市は少なくなりましたが、「三春の里田園生活館」などで「お盆花市」が開催され、今もお盆の準備で活気づきます。墓参りでは、墓石をきれいに清め、花や線香を手向け、静かに手を合わせます。

🍁 盆棚

お盆に先祖の霊を迎えるために、各家庭に設けられるのが「盆棚」です。家庭により飾るものは異なりますが、素麺やわかめ、ホオズキなどで飾られた棚には、お膳や果物、あらよね（水の子）などが供えられます。



🍁 お供え

お盆に盆棚へ供えられる品々は、ご先祖様への感謝と供養の気持ちを表すものです。三春町でも、旬の野菜や果物、あらよね（水の子）などが基本のお供え物となります。特に、そうめんや煮物、野菜の天ぷらといった精進料理が中心となります。

あらよね（水の子）とは？…「水の子」とも呼ばれる「あらよね」は、一般的に、洗ったお米をそのまま、あるいはナスやキュウリを細かく刻んだものと混ぜて供えられます。これは、餓鬼道（がきどう）に落ちて飢えに苦しむ霊（餓鬼）のためのお供え物とされています。



精霊馬（しょうりょううま）とは？…キュウリは足の速い馬に見立てられ「早く家に来てほしい」という願いを、ナスは足の遅い牛に見立てられ「ゆっくりあの世に帰ってほしい」という願いが込められています。

